

別紙 17 「船卸許可申請 (DNC) 業務 入力項目表」

項番 <sup>(※1)</sup>	項目名	区分 <sup>(※2)</sup>		業務コード <sup>(※3)</sup>	内 容
2	処理区分コード	C			【船卸許可申請 (DNC11) 業務を利用した場合】 DNC11 業務で入力した処理区分コードが出力される。
					【船卸許可申請 (DNC11) 業務を利用しない場合】 「9」を入力する。
3	船舶コード	M		信号符字 (コールサイン)	【DNC11 業務を利用した場合】 DNC11 業務で入力した信号符字 (コールサイン) が出力される。
					【DNC11 業務を利用しない場合】 (1) 船舶の信号符字 (コールサイン) を入力する。 (2) 左詰めで入力する。
4	航海番号	M			【DNC11 業務を利用した場合】 DNC11 業務で入力した航海番号が出力される。
					【DNC11 業務を利用しない場合】 航海番号を入力する。
5	船会社コード	M			【DNC11 業務を利用した場合】 DNC11 業務で入力した船会社コード (※) が出力される。 ※船会社に対してNACCSセンターが払い出すコード
					【DNC11 業務を利用しない場合】 NACCS用船会社コードを入力する。
6	船卸港コード	M		港コード (業務コード集の国連LOCODE (国名コードを含む) を参照)	【DNC11 業務を利用した場合】 DNC11 業務で入力した船卸港コードが出力される。
					【DNC11 業務を利用しない場合】 船卸港 (仮陸揚を行う場合は仮陸揚港) について、港コード (国連LOCODE 5桁) を入力する。
7	入港 (予定) 年月日	M			【DNC11 業務を利用した場合】 (1) 船卸港への入港予定年月日を西暦 (8桁) で入力する。 (2) 日本時間で入力する。
					【DNC11 業務を利用しない場合】 (1) 船卸港への入港予定年月日を西暦 (8桁) で入力する。 (2) 日本時間で入力する。
8	入港 (予定) 時刻	M			【DNC11 業務を利用した場合】 (1) 船卸港への入港予定時刻を時分 (4桁) で入力する。 (2) 日本時間で入力する。

項番 <sup>(※1)</sup>	項目名	区分 <sup>(※2)</sup>	業務コード <sup>(※3)</sup>	内 容
				<p>【DNC11 業務を利用しない場合】</p> <p>(1) 船卸港への入港予定時刻を時分（4桁）で入力する。</p> <p>(2) 日本時間で入力する。</p>
9	船卸期間開始年月日	M		<p>【DNC11 業務を利用した場合】</p> <p>(1) 船卸しを開始する日を西暦（8桁）で入力する。</p> <p>(2) 日本時間で入力する。</p> <hr/> <p>【DNC11 業務を利用しない場合】</p> <p>(1) 船卸しを開始する日を西暦（8桁）で入力する。</p> <p>(2) 日本時間で入力する。</p>
10	船卸期間開始時刻	C		<p>【DNC11 業務を利用した場合】</p> <p>(1) 船卸しを開始する時間を時分（4桁）で入力する。</p> <p>(2) 日本時間で入力する。</p> <hr/> <p>【DNC11 業務を利用しない場合】</p> <p>(1) 船卸しを開始する時間を時分（4桁）で入力する。</p> <p>(2) 日本時間で入力する。</p>
11	船卸期間終了年月日	M		<p>【DNC11 業務を利用した場合】</p> <p>(1) 船卸しが終了する日を西暦（8桁）で入力する。</p> <p>(2) 日本時間で入力する。</p> <hr/> <p>【DNC11 業務を利用しない場合】</p> <p>(1) 船卸しが終了する日を西暦（8桁）で入力する。</p> <p>(2) 日本時間で入力する。</p>
12	船卸期間終了時刻	C		<p>【DNC11 業務を利用した場合】</p> <p>(1) 「項番10」の船卸期間開始時刻を入力した場合は、船卸しが終了する時間を時分（4桁）で必須入力する。</p> <p>(2) 日本時間で入力する。</p> <hr/> <p>【DNC11 業務を利用しない場合】</p> <p>(1) 「項番10」の船卸期間開始時刻を入力した場合は、船卸しが終了する時間を時分（4桁）で必須入力する。</p> <p>(2) 日本時間で入力する。</p>

※「13」の項目は、最大2回繰り返し入力することができる。

項番 <sup>(※1)</sup>	項目名	区分 <sup>(※2)</sup>		業務コード <sup>(※3)</sup>	内 容
13	通知先コード		C	利用者コード (※) ※NACCSセンターと 利用契約を締結する際に 払い出される、利用者を特 定するためのコード。本文 4-(3)の申請者IDと は異なるので留意するこ と。	<b>【DNC11 業務を利用した場合】</b> 船卸許可申請控情報及び船卸許可通知情報を他 の利用者にも通知する必要がある場合は、当該利 用者の利用者コードを入力する。 <hr/> <b>【DNC11 業務を利用しない場合】</b> 船卸許可申請控情報及び船卸許可通知情報を他 の利用者にも通知する必要がある場合は、当該利 用者の利用者コードを入力する。
※以下 [14] 及び [15] の項目は、最大 100 回繰り返し入力することができる。					
14	処理識別		C		<b>【DNC11 業務を利用した場合】</b> 「項番 15」に出力されたB/L番号に対して船 卸許可申請を行わない場合は、「X」（申請対象 外）を入力する。 <hr/> <b>【DNC11 業務を利用しない場合】</b> 入力を要しない。
15	B/L番号		M		<b>【DNC11 業務を利用した場合】</b> 税関により事前通知コード(SPD)の登録が行 われたB/L番号が出力される。 <hr/> <b>【DNC11 業務を利用しない場合】</b> 船卸許可申請を行うB/L番号を入力する。

(※1) 各業務に対応した業務仕様書（入力項目）の項番を表示している。

なお、業務仕様書は、Advance Filing Rules web site (<http://www.naccscenter.com/afr/indexj.html>) に掲載している。

(※2) 「区分」の見方は以下のとおり。

① 「区分」の内容

区分	内容
M	必須項目
C	条件付項目
F	補完後必須項目
X	入力不可
-	入力無視

② 「区分」レベル

(例)

項目名	区分	
項目 A	C	
項目 B		M

下位レベルの項目は上位レベルの項目の区分に従属する。

※項目 A は条件付項目であり、入力する場合としない場合がある。

項目 B は項目 A の下位レベルにある必須項目のため、項目 A の入力がある場合、項目 B は必須入力となる。

(※3) 業務コード集については、Advance Filing Rules web site (<http://www.naccscenter.com/afr/indexj.html>) に掲載している。